

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（きそだに） 木曾谷森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署 木曾森林管理署 南木曾支署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、長野県の南西部に位置する^{あげまつまち}上松町を含む3町3村に所在する89,133haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の多くが、地形の急峻な山岳地帯となっている。森林の現況は、人工林45%、天然林55%となっている。天然林は貴重な木曾ヒノキを有しており、人工林はヒノキ66%、カラマツ27%、その他7%でヒノキの占める割合が高い地域である。</p> <p>本地域は、森林率93%と非常に高く、木曾ヒノキをはじめとする国産材の製材加工が盛んな地域であり、国有林においても木材の持続的な供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、木曾川水系は発電用水とともに、^{かんよう}中京圏の重要な水源地となっており、本地域の森林は国土の保全、水源の^{かんよう}涵養等の公益的機能の発揮に重要な役割を担っている。</p> <p>さらに、中央アルプス国立公園、^{おんたけ}御岳県立公園と、森林浴発祥の地である赤沢自然休養林等、森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている地域である。</p> <p>このため、山地災害による人命・施設の被害防備、自然環境の保全、風致景観の維持、保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>本事業においては本計画区内の国有林の有する山地保全機能や水源涵養機能、保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化防止及び地域の活性化にも積極的に寄与するため、間伐等の森林整備等を積極的に推進するとともに、それに必要な路網の開設・改良等を実施し健全な森林を育成しつつ、公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>241ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,910ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>16.9km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.3km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">9,128,780 千円（税抜き8,298,890 千円）</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	241ha			保育面積	2,910ha		路網整備	開設延長	16.9km			改良延長	2.3km	総事業費	9,128,780 千円（税抜き8,298,890 千円）		
主な事業内容	森林整備	更新面積	241ha																				
		保育面積	2,910ha																				
	路網整備	開設延長	16.9km																				
		改良延長	2.3km																				
総事業費	9,128,780 千円（税抜き8,298,890 千円）																						
費用対効果分析	総便益（B）	31,223,535 千円																					
	総費用（C）	12,901,407 千円																					
	分析結果（B/C）	2.42																					
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当と判断される。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資すること、また、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。 ・ 効率性 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、路網整備では、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所を優先的に、トラック通行可能な林道に整備することによりコストの削減を図ることとしている。 これらについて、費用便益分析の結果からも事業の十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 計画的な保育等の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて、多面的機能を発揮する健全な森林整備に資するものであり、また、森林施業の効率化、低コスト化についても民間連携の取組を通じて民有林への普及を図ることとしている。加えて、木材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。 																						

新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：長野県

施行箇所：木曾谷森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,829,272	
	流域貯水便益	3,157,914	
	水質浄化便益	11,842,199	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,884,016	
環境保全便益	炭素固定便益	1,662,145	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,324,488	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,502,184	
維持管理費縮減便益		21,317	
総 便 益 (B)		31,223,535	
総 費 用 (C)		12,901,407	
費用便益比	$B \div C = \frac{31,223,535}{12,901,407} = 2.42$		

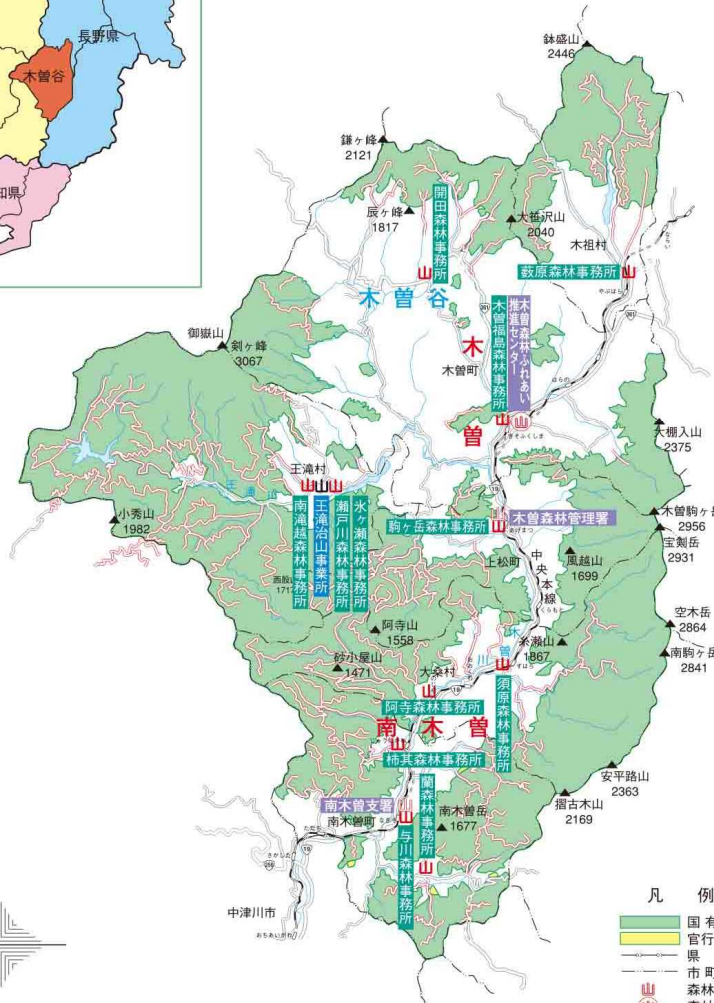
森林環境保全整備事業 木曾谷森林計画区 事業概要図

森林整備事業（間伐）



木曾森林管理署(育成受光伐(架線集材))

木曾谷森林計画区の国有林位置図



凡例

- 国有林野
- 官行造林地
- 県界
- 市町村界
- 森林管理署
- 森林センター等
- 森林事務所
- 治山事業所
- 森林計画区名

1 : 300,000

10 5 0 10 20 30km

森林整備事業（地拵）



木曾森林管理署南木曾支署(ドローンで撮影)

森林整備事業（獣害防止）



木曾森林管理署(ジラム水と剤)

路網整備事業（新設工事）



木曾森林管理署 クロブチ林業専用道新設

林内枝条の搬出で地拵コスト低減



集材



枝条ストック



枝条運搬



地拵予定地